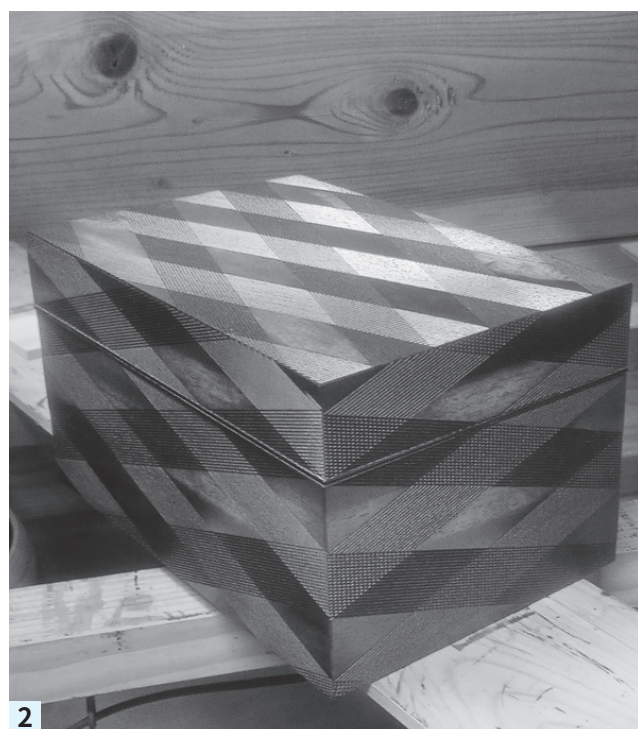


第73回日本伝統工芸展 2年連続入選！！



1



2



3

西平で霞工房を構える山本富士雄さんが、日本伝統工芸展で入選(木竹工の部)されました。今回で第73回目を迎える本工芸展は、日本の優れた伝統工芸の保護と育成を目的とした展覧会であり、日本工芸の技と美が一堂に会する場です。陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門に全国から1,071点の応募があり、その中から入選作品が決められました。木竹工の部では埼玉県から2名のみの入選となりました。今回で7回目の入選を果たした山本さんは「製作には約1年間を費やしました。表面に斜め方向の独特な美しい木目や光の反射による模様(斜耀紋)と木地に生漆を塗り込み、余分な漆を布で拭き取る作業を何度も繰り返す日本の伝統的な技法(拭漆)にこだわりました。今後も木工技術を磨き、一つひとつ丁寧に誕生祝い品木製食器セットを製作していきたいです。」と話してくれました。

- 1 入選を果たした山本富士雄さん。 2 入選作品「黒柿斜耀紋箱」
3 誕生祝い品「木製食器セット」。

写真説明

グラフときがわ

写真でときがわの「今」をお伝えする「グラフときがわ」。珍しい情報や写真は☎65-0401 広報担当までお寄せください。

第54回関東中学校陸上競技大会に出場されました！！



令和8年広報8月号で特集した都幾川中学校2学年の山岸千夕さんが、山梨県で行われた第54回関東中学校陸上競技大会に出場されました。惜しくも決勝進出とはなりませんでしたが、関東の舞台で最後まで全力を尽くしました。競技を終えた山岸さんは、「夏の練習を乗り越えて、今よりも速くなれるように頑張ります。」と、早くも次の目標を見据えていました。関東大会で得た経験を力に変え、さらなる成長を目指します。

写真左側から、陸上部顧問平野教諭、山岸千夕さん、前田町長、太田校長。

写真説明

ときがわ町の未来を支える「地籍調査」について

～ときがわ町の職員が国土交通大臣表彰を受賞しました～

地籍調査とは、明治時代につくられた古い図面などをもとにした土地情報を、現代の測量技術で一筆ごとの境界や面積を正確に調べ、その成果を土地登記簿や地図に反映させる「土地の戸籍」をつくる事業です。境界が明確になり、災害復旧や土地取引、公共事業を円滑に進めることにもつながります。本町では平成10年度から約30年間、毎年地籍調査事業を続けています。地籍調査には長い年月がかかり、町内すべての土地の調査完了は、おおむね令和51年頃を予定しています。地籍調査は町が一方的に決めるものではなく、現地立会いなど土地所有者の皆様のご理解とご協力が不可欠です。

これまで長年にわたり地籍調査推進委員の皆様をはじめ地域一丸となって事業を支えていただきました。先人から受け継がれた土地の記憶や地域の歴史という大切な財産を、次の世代に残すため、「今を測り、過去を受け継ぎ、未来に残す。」ときがわ町の地籍調査は、これからも続きます。



ときがわ町職員が国土交通大臣表彰を受賞しました！

ときがわ町地籍調査事業進捗状況

■ 国有林



凡例

調査完了地区
調査中地区

～これまで地籍調査事業を支えてくださったすべての皆様に心から感謝申し上げます。～

写真説明